

内外石油情勢の展望と課題

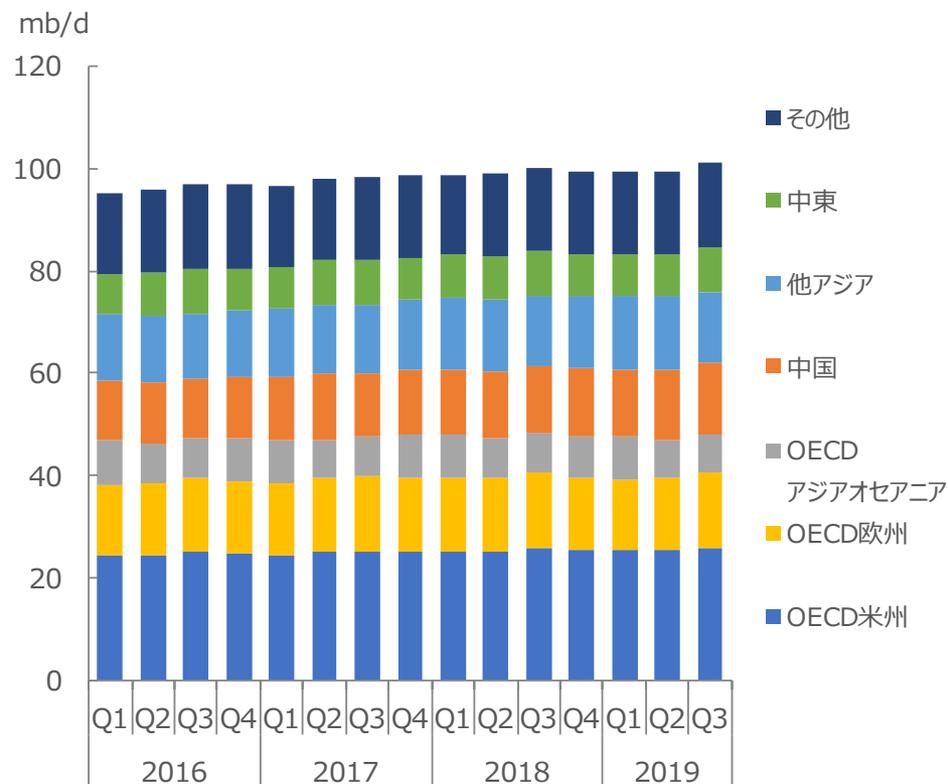
一般財団法人日本エネルギー経済研究所

化石エネルギー・国際協力ユニット 石油グループ

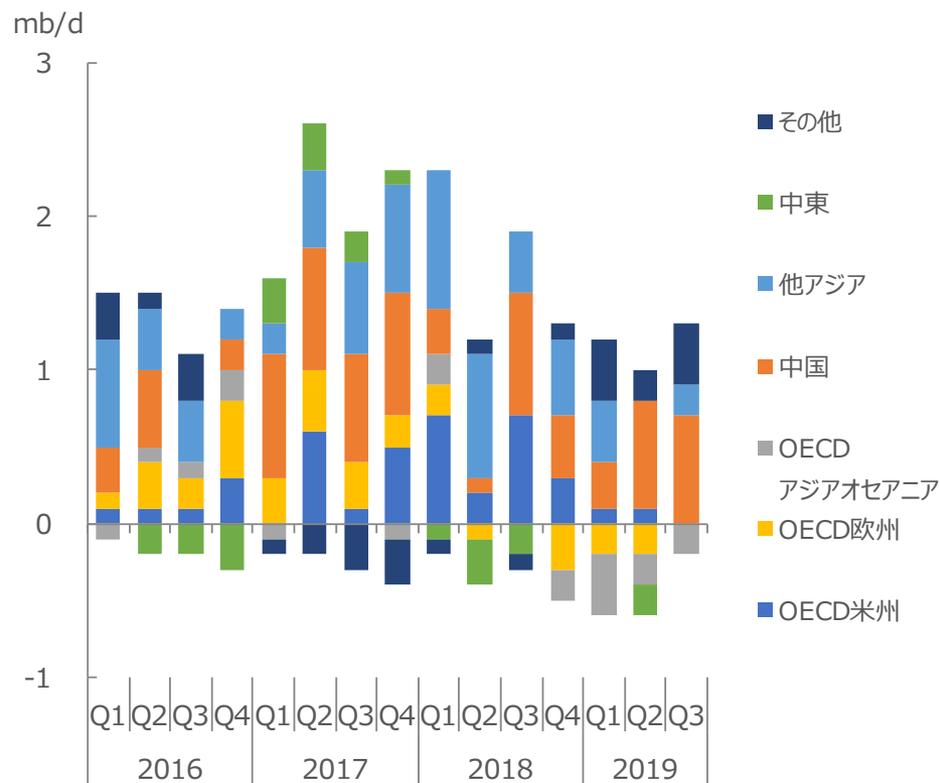
森川哲男

- ✓ 2020年の世界石油需要は前年比120万バレル/日（以下、b/d）増の1億150万b/d、供給量は同100万b/d増の1億130万b/dとなり、通年では20万b/d程度の需要超過（在庫取り崩し）になることが見込まれる。
- ✓ 国際原油（Brent）価格は、2020年平均で\$65/bblが中心水準になると予測する。但し、中東情勢の緊迫化といった地政学リスクや産油国での供給途絶による価格上昇、OPECプラスの協調減産緩和や米中貿易合意の実効性・交渉決裂等による経済成長減速がもたらす価格低下といった不確実性がある。
- ✓ IMOによる船舶燃料硫黄分規制強化により、HSFOと代替燃料となるMGOやVLSFOの価格差は更に拡大する可能性がある。低硫黄（多くの場合軽質）原油需要が増加する。今後の原油の重軽価格差がどのように変化するかが注目される。適合油供給体制を整えた日本の精製業にとって、HSFOの生産抑制、そのための軽質原油の確保が課題として残っている。

需要



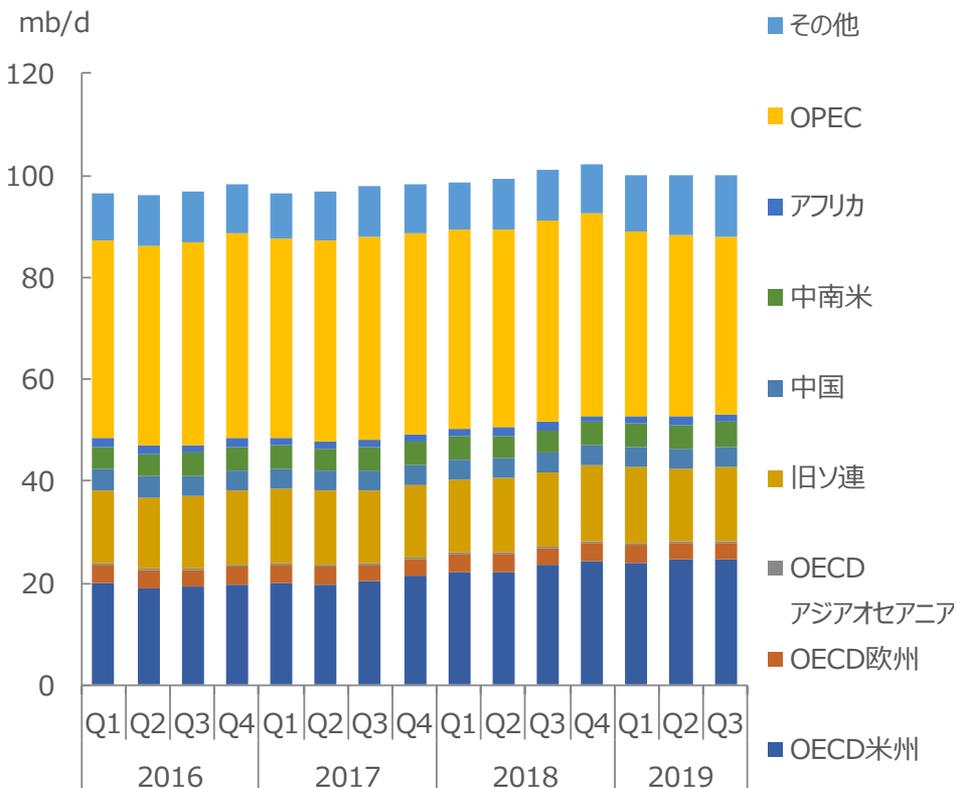
需要増減（前年同期比）



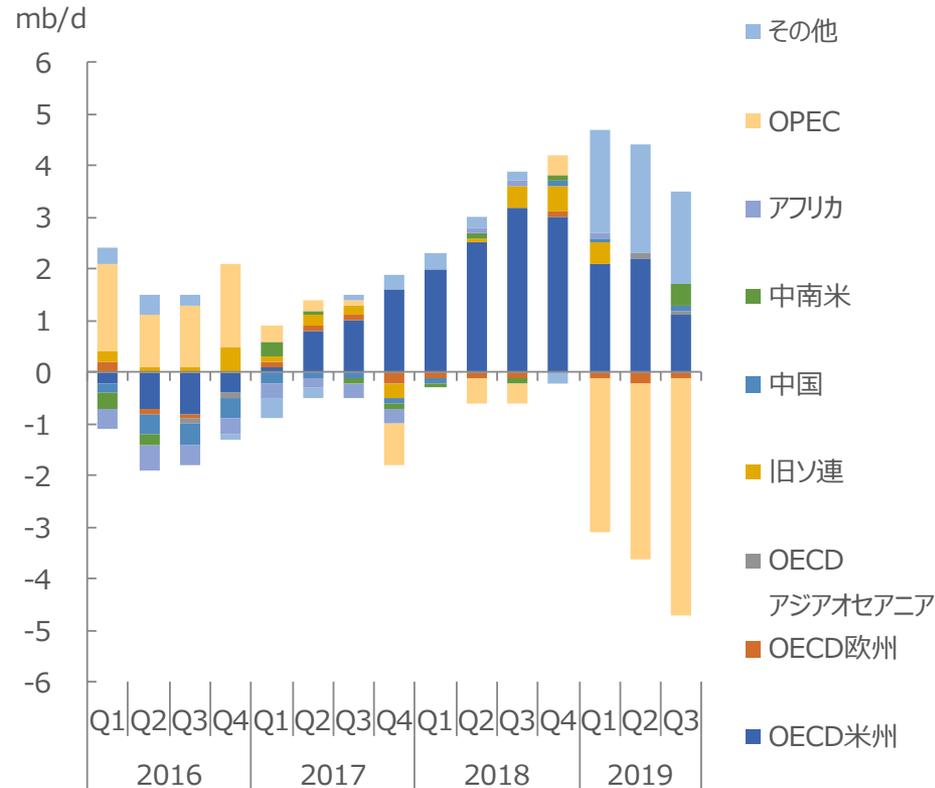
出所: IEA "Oil Market Report"

- 2019年第3四半期の需要は前年同期比90万b/d (0.9%) 増の1億90万b/d
- 非OECD需要は底堅いが、OECD需要減少で全体として需要は弱含み

生産量



生産量増減（前年同期比）

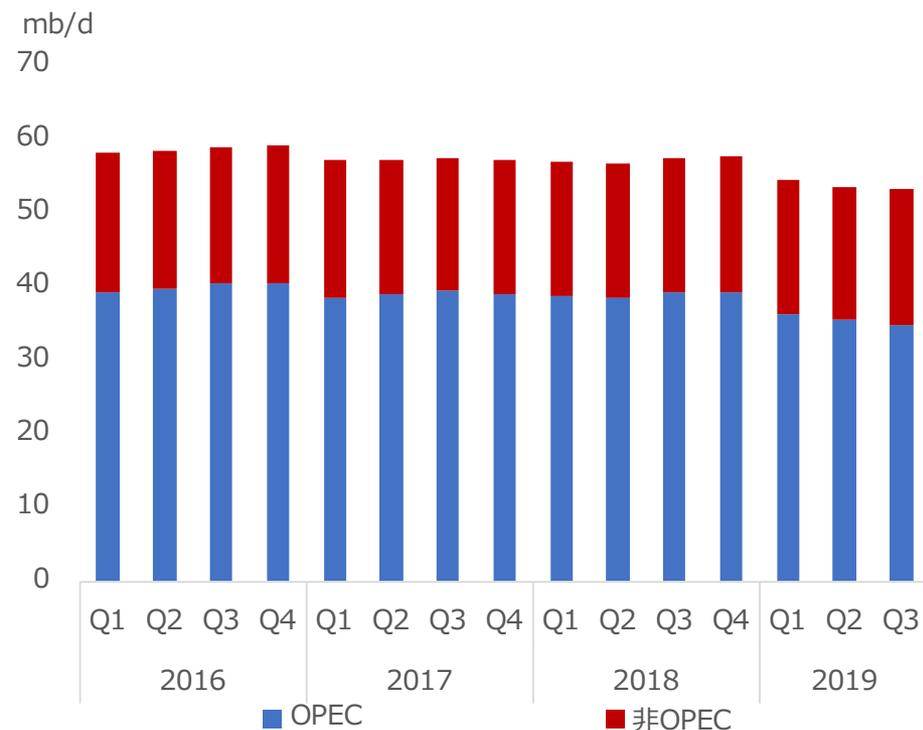


出所: IEA "Oil Market Report"

- 2019年第3四半期の生産量は前年同期比120万b/d（1.2%）減の1億b/d
- OPEC生産量が下振れし、OECD米州の増産ペースも鈍化

OPECプラス協調減産

生産量



生産量増減（前年同期比）

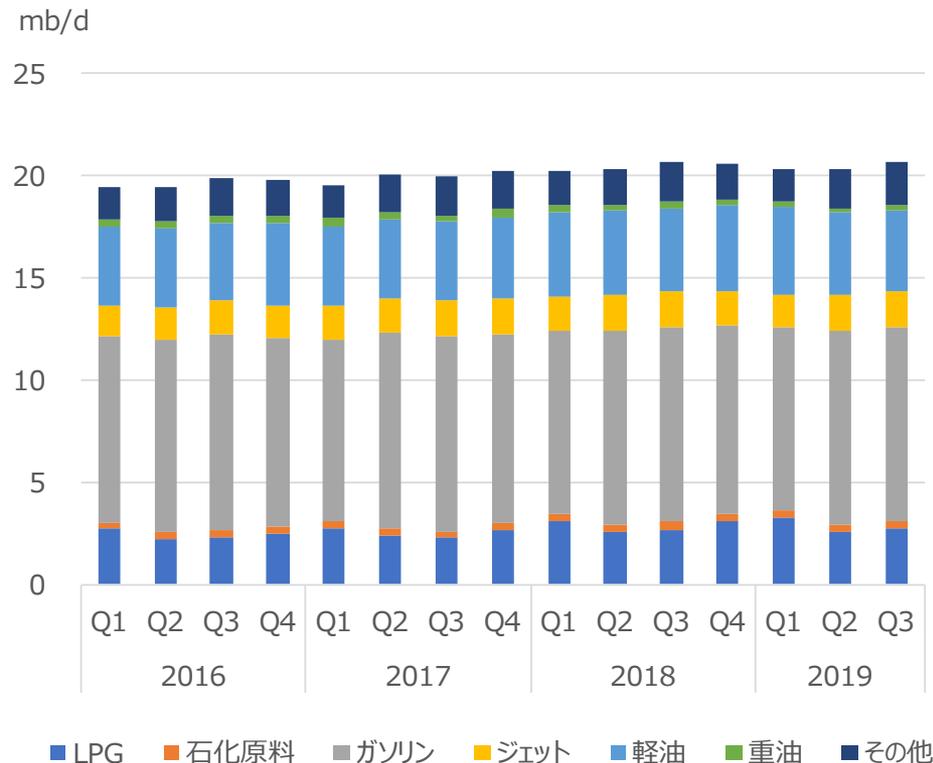
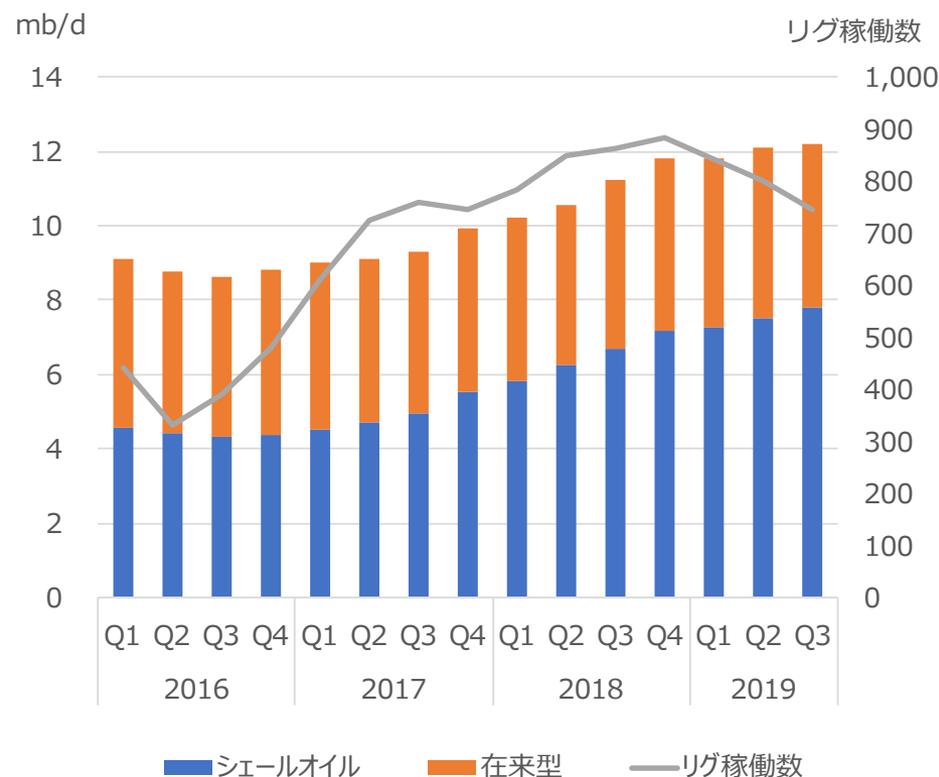


出所: IEA “Oil Market Report”、OPEC “Monthly Oil Market Report”

- 2019年第3四半期のOPECプラス生産量は、カタールの脱退、減産強化、イラン・ベネズエラの生産量減少、サウジアラビアの生産一時停止等によって前年同期比415万b/d（7.2%）減の5,317万b/d（カタール脱退の影響を除くと200万b/d減）
- OPECプラスは減産幅を210万b/d以上に拡大。価格下支えのために、2020年末まで減産幅が維持されると予測する

生産量・リグ稼働数

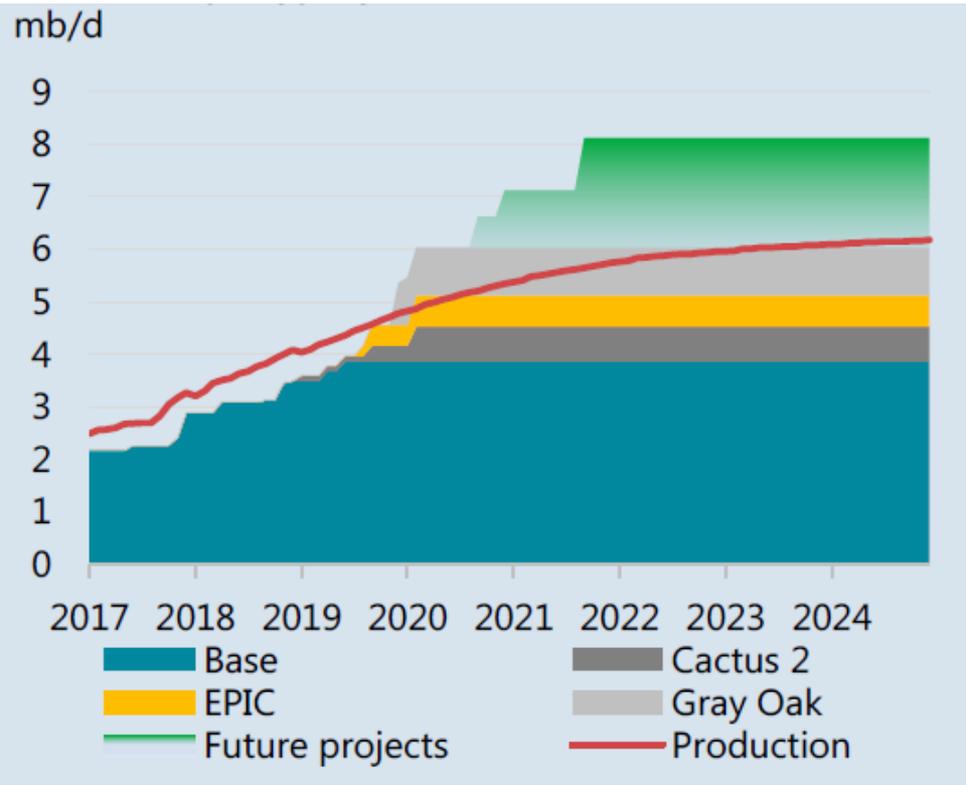
製品別需要



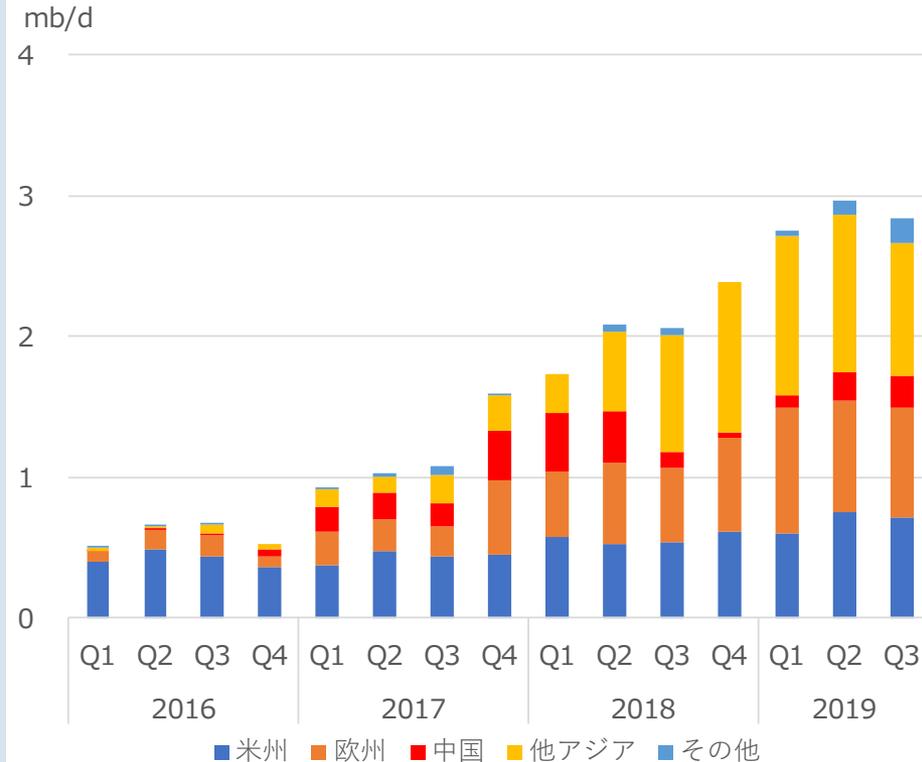
出所: EIA、Baker Hughes

- 2019年第3四半期の生産量は前年同期比100万b/d (8.5%) 増の1,220万b/d。需要は同10万b/d (0.5%) 増の2,070万b/d。
- リグ稼働数は減少傾向も、生産性向上で生産量を維持

Permian生産量・輸送容量見通し



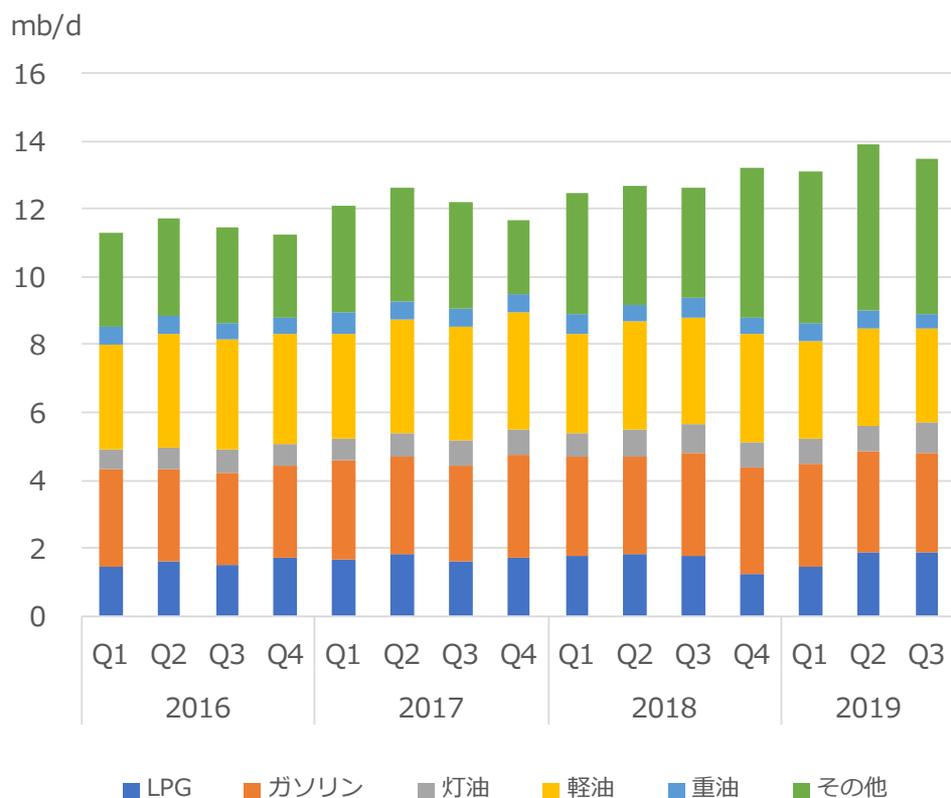
原油輸出量



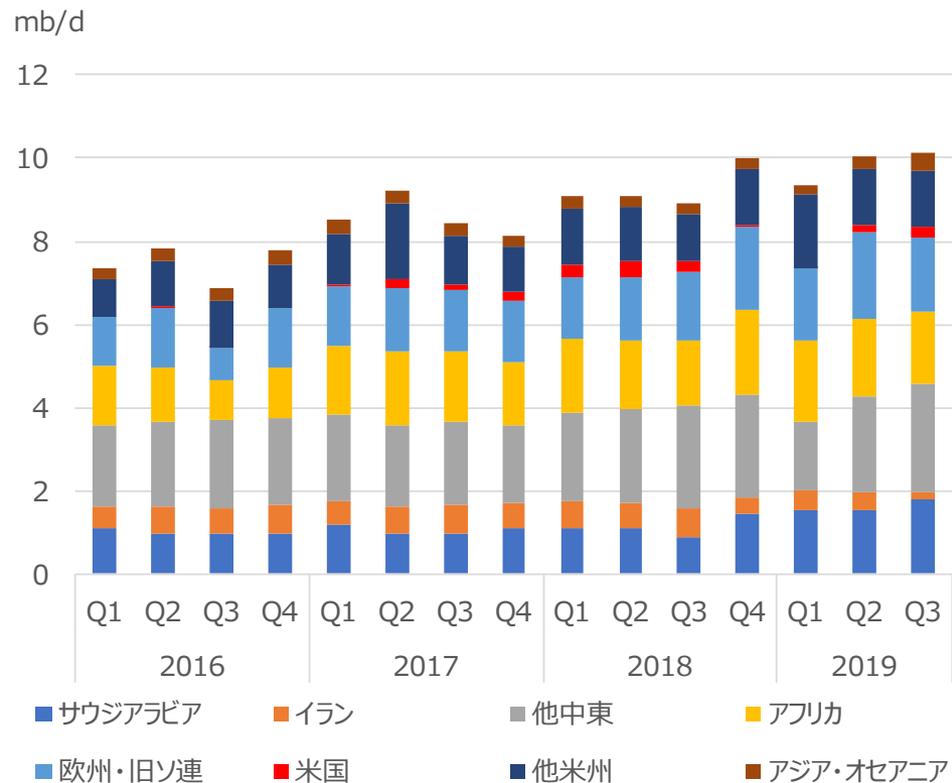
出所: EIA、IEA

- 2015年末の輸出解禁以降、原油輸出は堅調に増加、2019年第3四半期の輸出量は前年同期比78万b/d (37.7%) 増の284万b/d。原油・石油製品合計では2019年9月単月で純輸出国に。
- Permianからの輸送制約の解消は生産量・輸出量増加に寄与

製品別需要

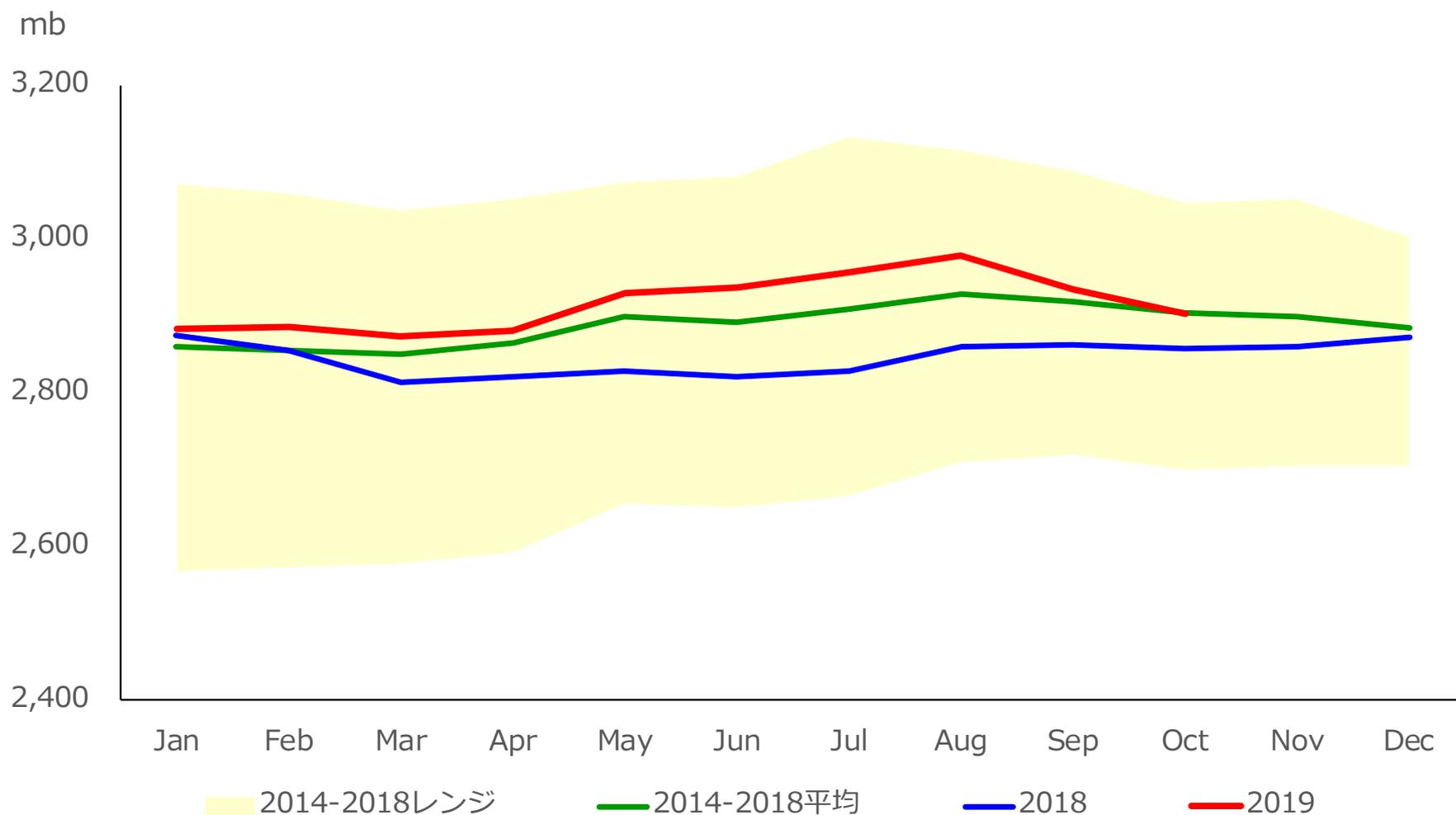


原油輸入量



出所: APEC "EGEDA Database"、China OGP

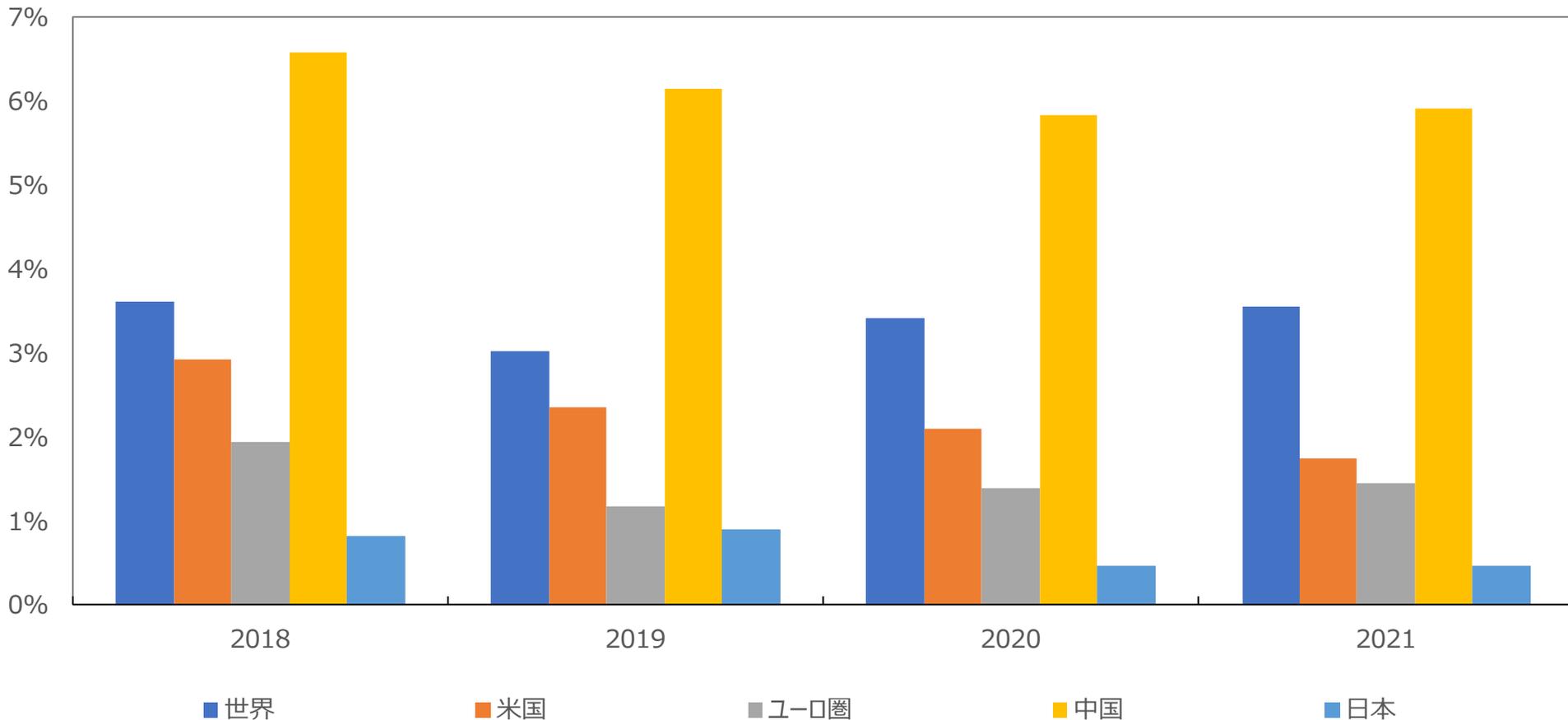
- 2019年第3四半期の需要は前年同期比82万b/d (6.5%) 増の1,350万b/d
- 精製能力拡大が続き、原油輸入量は堅調に増加。米国原油輸入量は回復傾向。イラン原油の輸入も少量ながら継続しており、米国による制裁事例も。



出所: IEA "Oil Market Report"

- 10月のOECD商業在庫量は2019年で初めて過去5年平均水準に低下

成長率

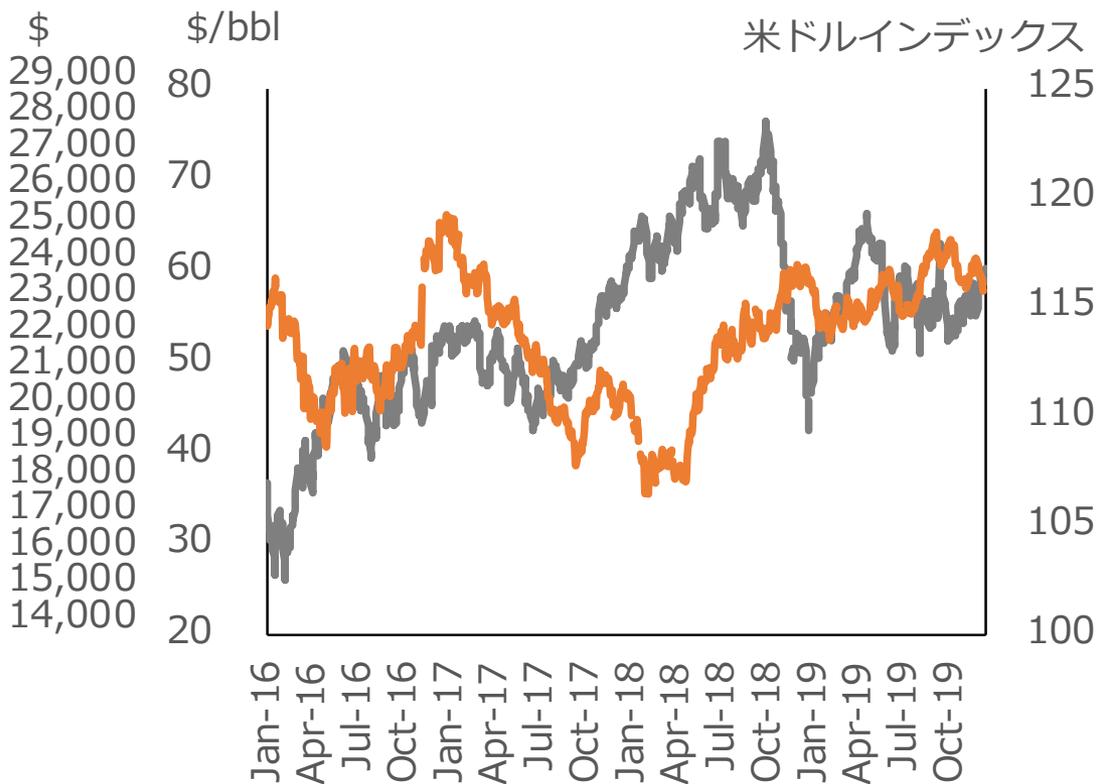
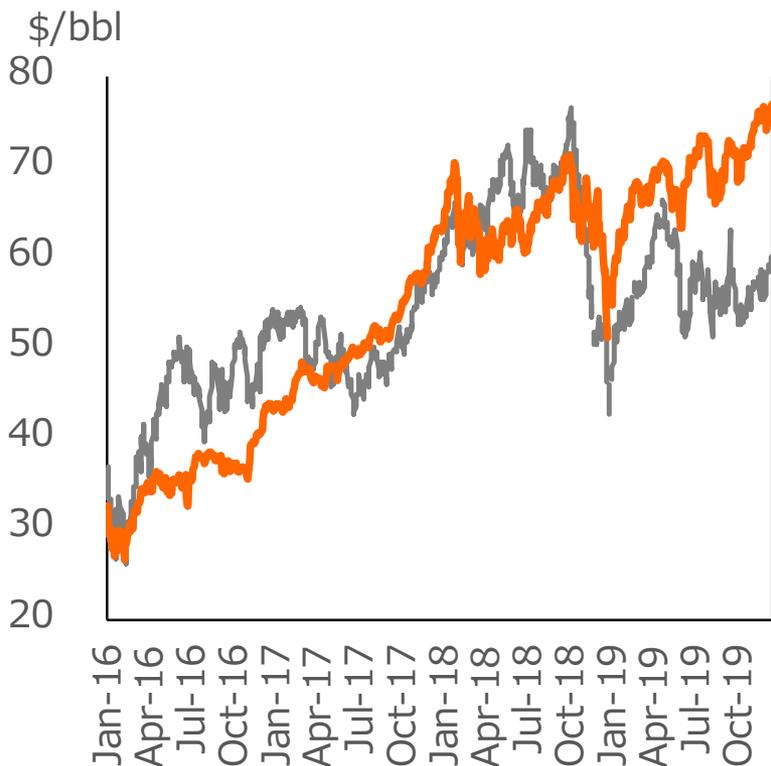


出所: IMF “World Economic Outlook”

- IMFは2019年・2020年の世界経済成長率を3.0%・3.4%に再度下方修正
- 米中貿易協議第1段階合意の実効性や第2段階の交渉等、米中関係は引き続き世界経済のリスク

油価と株価

油価と為替



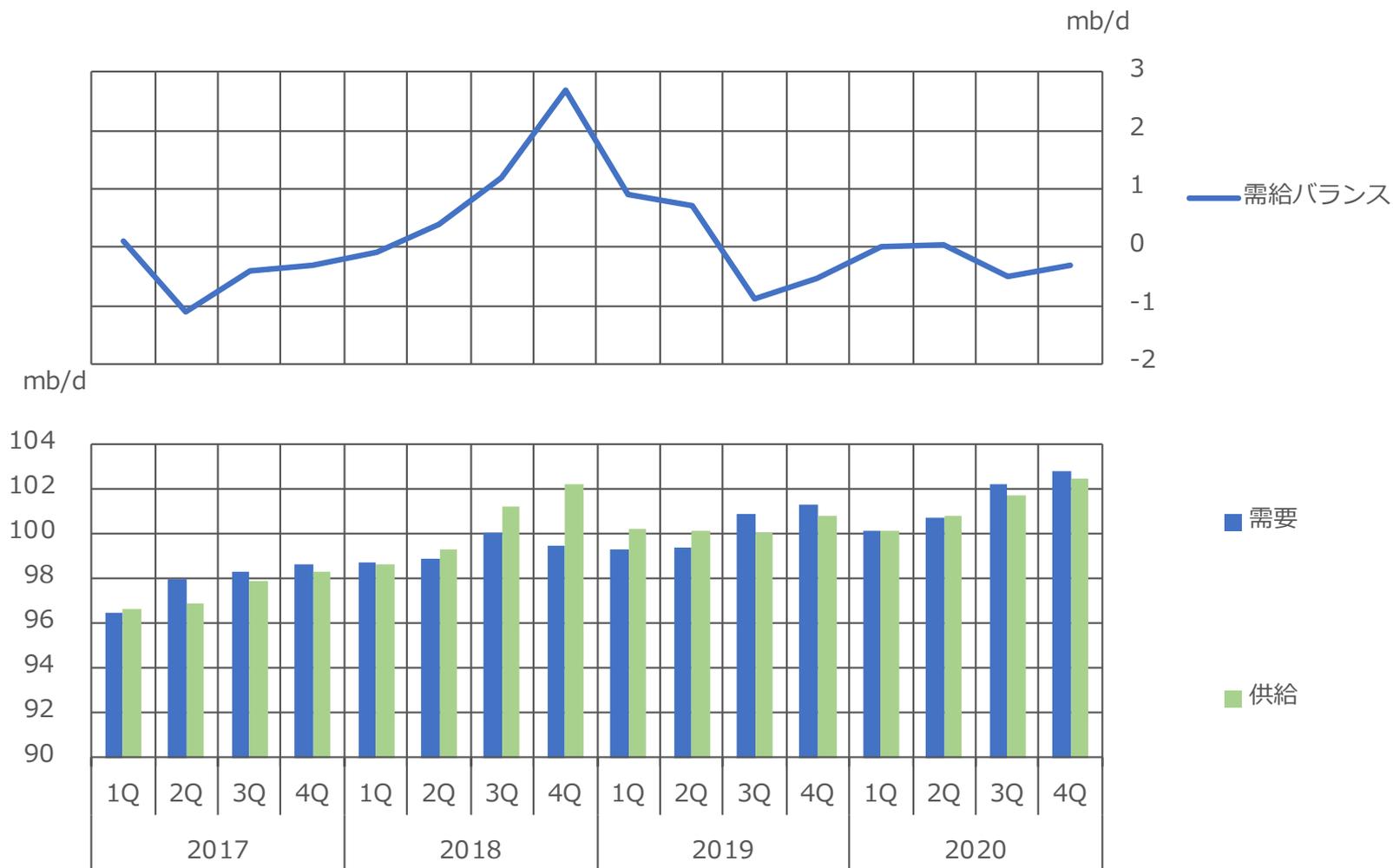
— WTI — Dow 30

— WTI — 米ドルインデックス

出所: FRB統計

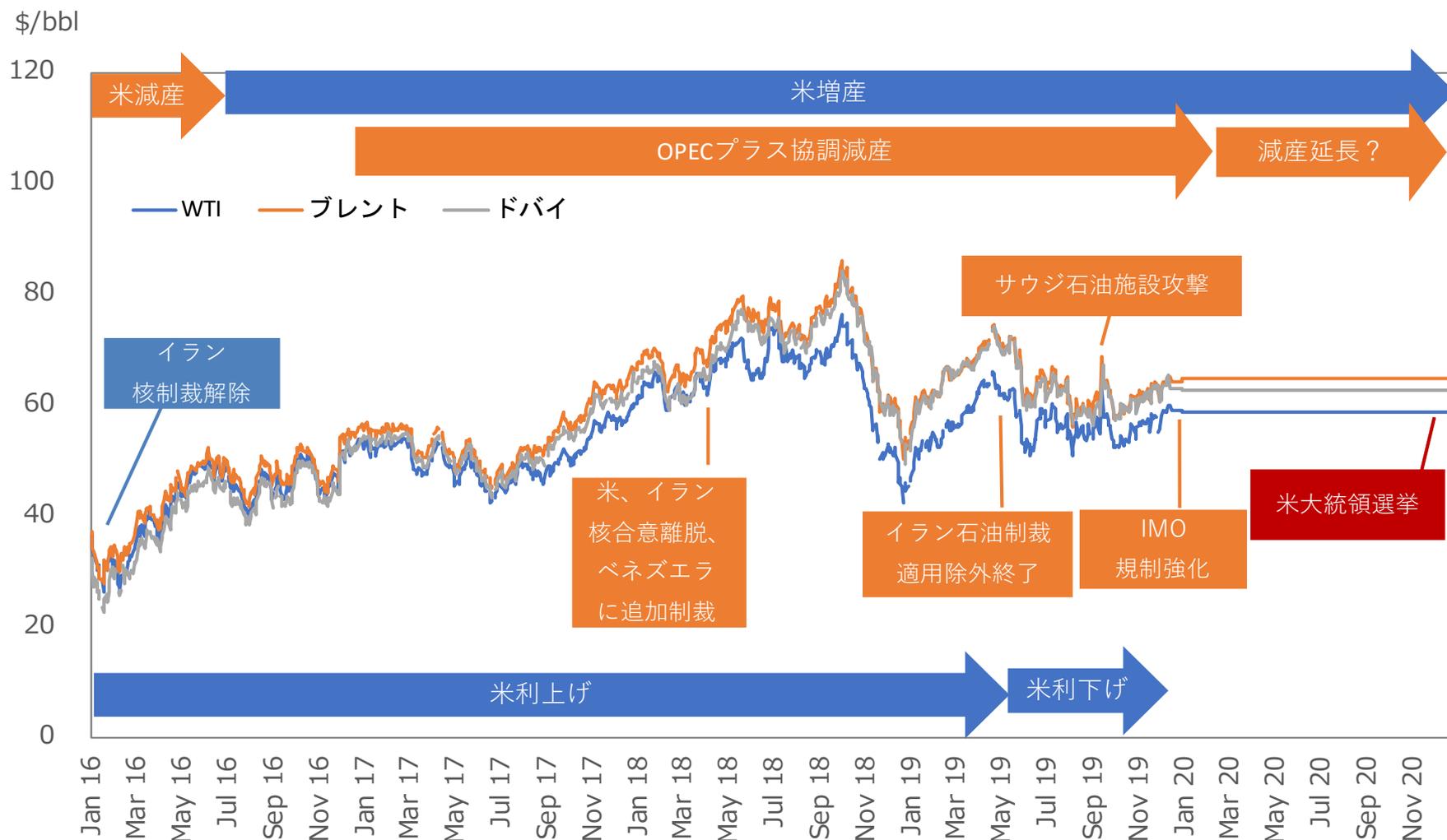
- 米中貿易協議第1段階合意や好調な企業決算等から米株価は12月に史上最高値を更新
- 米ドルインデックスは8月末に年初来最高値を記録後やや低下

需給バランス見通し



- 2020年平均の需要は前年比120万b/d増の1億150万b/d、供給量は同110万b/d増の1億130万b/d、通年で20万b/dの需要超過と見込む

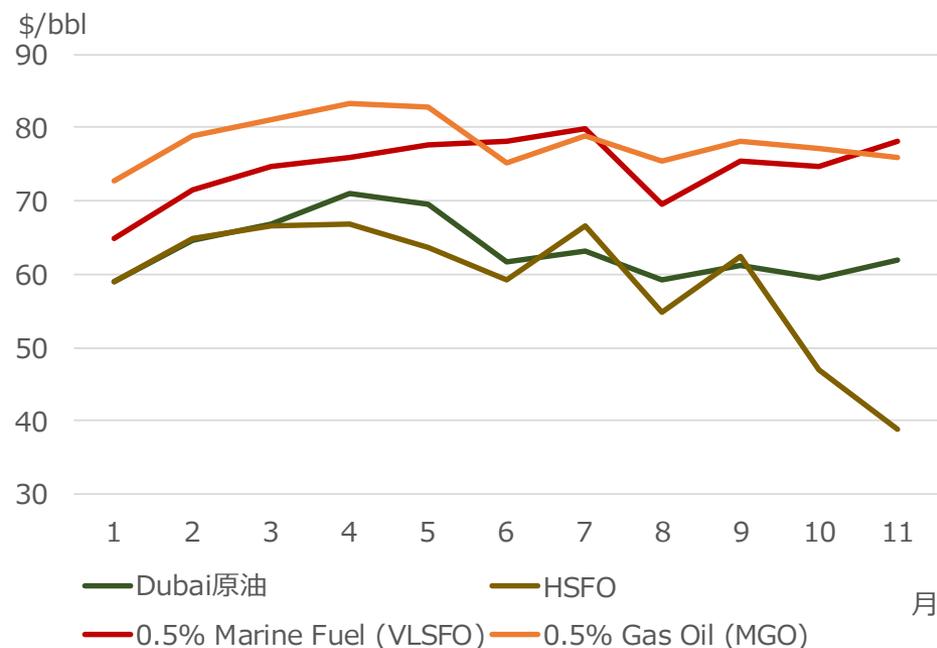
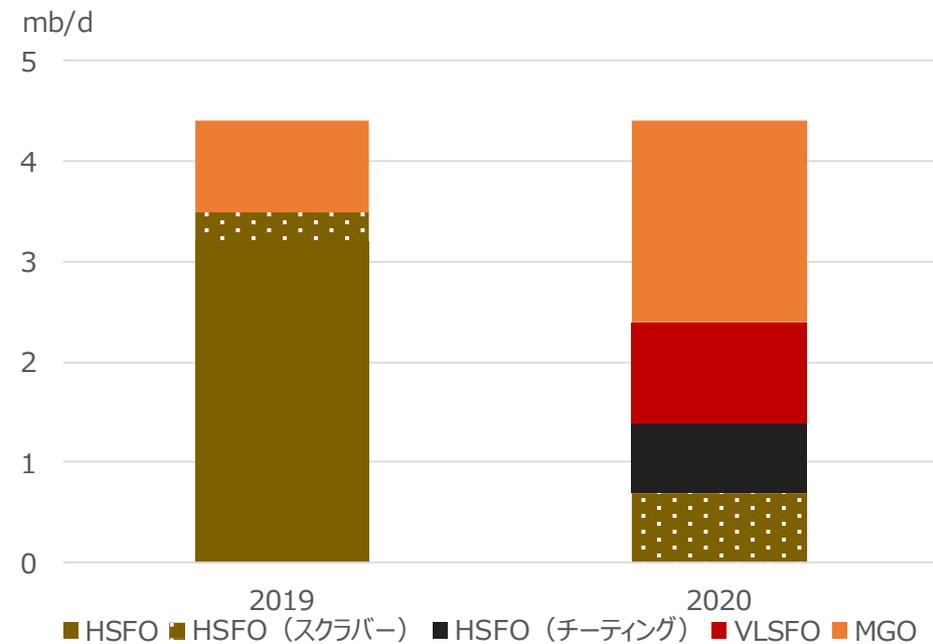
原油価格見通し



- 2020年の国際原油（Brent）価格は\$65/bblを中心水準と予測する
- 主要な不確実要素として、OPECプラス協調減産緩和、米中貿易合意の実効性・交渉決裂、中東情勢緊迫化や供給途絶リスクが挙げられる

船舶燃料需要見通し

Dubai原油とシンガポール船舶燃料価格（2019年）



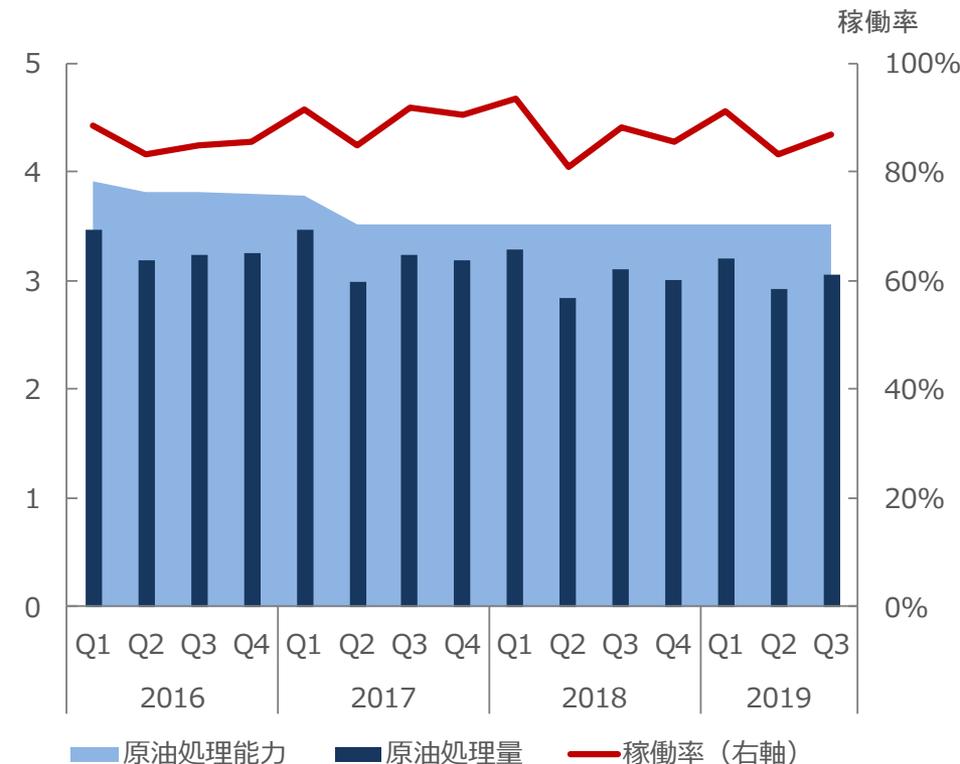
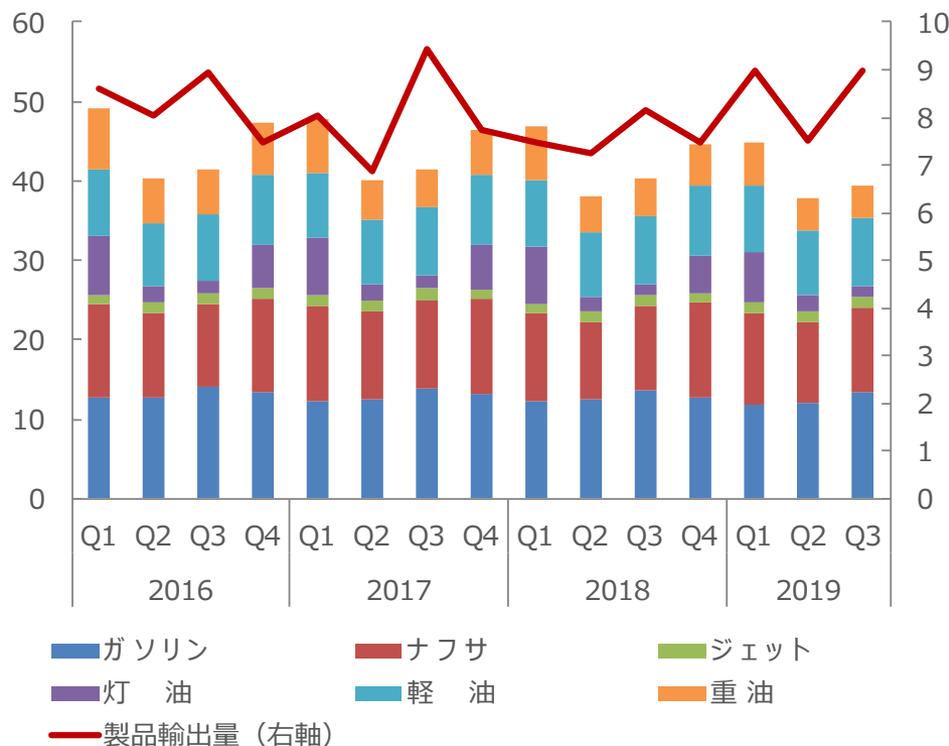
註: HSFO : High Sulfur Fuel Oil、VLSFO=Very Low Sulfur Fuel Oil、MGO=Marine Gasoil

出所: IEA、Platts

- 船舶燃料硫黄分規制強化で210万b/dの船舶用HSFO需要が消滅
- 2020年初頭はHSFOとMGO・VLSFO価格差が更に拡大する可能性
- 原油の重軽格差はどのように変化するか？

燃料油販売量と輸出

原油処理能力と稼働率



出所: 経済産業省

- 2019年第3四半期の燃料油需要は前年同期比87万KL (2.2%) 減の3億9,484万KL (270万b/d)、輸出量は同79万KL (9.8%) 増の8,965万KL (60万b/d)
- 製油所稼働率は引き続き高水準も、HSFO販路の確保は課題